

企画提案型アウトリーチ相談・支援【仙台市】

総事業費	5,700 千円
交付金額	4,275 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながれない女性も一定数存在すると思われる。

事業の特徴

プロポーザル方式による企画提案を募集した。

事業の効果

様々な事情で支援機関につながっていない10代から20代の若年期を含めた女性を適切な相談・支援につなげることができた。

目的・目標

貧困や孤立、性被害などのリスクを抱えている女性を相談・支援につなげる。

【数値目標】アウトリーチによる支援者数 延べ300人

【達成状況】居場所の利用人数 延べ約398人

連携団体

「若年女性支援情報交換会」※以下構成団体

- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- ② 仙台市
- ③ ①の関係団体

今後の課題

相談ニーズへの対応、夜回りの負担軽減、ケースの共有方法など

●企画提案型アウトリーチ相談・支援

1 開催概要

貧困や孤独、性被害などのリスクを抱える若年期を含めた女性を相談・支援につなげるため、アウトリーチ相談・支援(SNSや訪問等による相談、公的機関等への同行、繁華街での夜回りなどを想定)について、プロポーザル方式により企画提案を募集し、提案のあった居場所の開設と夜回りを組み合わせた事業を採択し、実施した。

実施内容:毎週金曜日(最終週を除く)、19:15~22:45に市中心部において居場所を開設し、居場所開設日の20:00~22:00に夜回りを実施した。

実施回数:42回

居場所の利用人数:延べ398人

夜回りの声掛け人数:延べ約2,060人



夜回りの様子

2 事業効果及び効果検証

- ・貧困や孤立、性被害などのリスクを抱えるものの、様々な事情で支援機関につながっていない10代から20代の若年期を含めた女性を適切な相談・支援につなげることができた。
- ・困難な状況にあるもののそれを抱え込んでしまう女性が、否定されず受け入れてもらえる場所を求めている様子が伺えた。



リーフレット